

(別添4)

【南風原町教育委員会】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

児童生徒の学びにおいて、1人1台端末をはじめとするICT環境を効果的に活用して、児童生徒の習熟度や進度に合わせた「個別最適な学び」を進めるとともに、多様な他者の意見に触れて学びを深め、「協働的な学び」を充実させることで「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。この過程において、一斉授業か個別学習か、デジタルかアナログかといった「二項対立」に陥ることなく、両者の良さを適切に組み合わせて活かした、教育DXを推進する。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期では、1人1台端末の整備やネットワーク環境整備とともに、デジタル教材、学習支援ソフト、デジタル教科書等を活用した学習環境の整備を進めることができた。また、授業や家庭学習において端末を活用する機会が増え、ICTを活用した学習活動が定着してきている。一方で、ICT活用の方法や頻度には差が見られることから、引き続きICT機器やデジタル教材等の活用に関する研修を実施し、効果的な活用の推進に取り組んでいく。

3. 1人1台端末の利活用方策

端末利活用の前提として、端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末の環境を引き続き維持する。

さらに、1人1台端末の効果的な利活用推進に向けて、次の3つの観点から目標達成に向けた取り組みを進めていく。

(1) 1人1台端末を積極的に活用するために

校内のニーズや課題に応じたICT研修の積極的な実施により、1人1台端末の効果的な利活用についての情報共有を図るとともに、効果的なデジタルツール等の活用を推進する。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実を図るために

デジタル教材などの学習データを活用し、一人ひとりに適した学びを提供するとともに、学習支援ソフトやクラウドサービスを活用して、児童生徒の意見の共有や発表の機会を充実させることで、多様な考えに触れながら学びを深める取組を推進する。

(3) すべての児童生徒の学びを保障するために

不登校の児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒及び障害のある児童生徒等に対し、学びの幅を広げたり、学習機会を確保したり等、1人1台端末を活用した支援に取り組む。また、すべての児童生徒の特性に応じてデジタル教材などの活用を促進することで、学習の効果を高める。